

## 足利市まちなか賑わいプラン（案）パブリック・コメント実施結果

### 1 意見提出人数

12名

### 2 意見数

34件

#### 内容別意見数

意見内容	件数
(1) 足利市まちなか賑わいプラン（案）全体に対するもの	5
(2) 取組方針Ⅰ「史跡足利学校、鏝阿寺、足利織姫神社を核としたまちづくり」に関連するもの	8
(3) 取組方針Ⅱ「多くの人が集い賑わい交流できるまちづくり」に関連するもの	12
(4) 取組方針Ⅲ「都市基盤の整備による快適で災害に強いまちづくり」に関連するもの	4
(5) 取組方針Ⅳ「まちなか居住の推進」に関連するもの	0
(6) その他	5
合計	34

### 3 パブリック・コメントにより修正した項目 1件

項目	修正前	修正後
P11 (7)まちの魅力 イまちなかの魅力	○小売業、飲食業等の店舗が 集積する場所 主要地方道桐生岩舟線沿いや 大日大門通り等の石畳通り、 北仲通りを中心として、小売 業、飲食業等の店舗が集積し ており、商業会などの近隣の 店舗同士が連携した活動も行 われています。	○小売業、飲食業等の店舗や宿 泊施設が集積する場所 主要地方道桐生岩舟線沿いや 大日大門通り等の石畳通り、北 仲通りを中心として、小売業、 飲食業等の店舗が集積してお り、商業会などの近隣の店舗同 士が連携した活動も行われて います。 <u>また、ビジネスや観光 等で本市に滞在する方が利用 する宿泊施設も複数立地して います。</u>

4 いただいたご意見に対する市の考え方

(1) 足利市まちなか賑わいプラン（案）全体に対するもの【5件】

No	意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<p>多くの自治体の活性化の成功例の裏には、外部コンサル企業の存在が欠かさないが、既存の組織、身内で固められたプランにより外部コンサル等有識者の意見の取り入れに触れていない。</p>	<p>まちなかに賑わいを創出するための今後の方向性を示す本プランの策定にあたっては、民間企業に委託するよりも、まちなかの実情を良く知り、実際に様々な取組を行っている関係団体の皆様とともに検討したいという考えのもと、足利市まちなか賑わいプラン策定検討委員会を設置しました。</p> <p>足利商工会議所、足利市観光協会、足利商業連合会、足利市自治会長連絡協議会などの方々に検討委員を務めていただき、有識者として足利大学からご推薦いただいた教授にも委員としてご参加いただきました。</p>
2	<p>活性化、にぎわいを求めている人も一定数いる、そもそもまちなかは観光地なのか商業地なのか住宅地なのかのとらえ方や、人それぞれで目指すものや生活のありようが異なるということを理解していない。そのためにもプラン立案のために住民の参加が不可欠であるのだが、それがなされていないために一方的に押し付けられた感が否めない。</p>	<p>本プランの策定を検討するために設置した足利市まちなか賑わいプラン策定検討委員会には、地域住民の意見もお伺いするため、足利市自治会長連絡協議会などの地域住民を主体とした団体にもご協力いただき、委員をご推薦いただきました。</p>
3 ・ 4	<p>今回の「足利市まちなか賑わいプラン（案）」策定の目的は、「中橋の架け替えを見据えて、中長期的な視点に立ち、本市中心市街地のランドデザインである「足利市まちなか賑わいプラン（案）」を策定したとしているが、中橋架け替えに伴う中橋通り（県道3・5・102号家富町堀込線）の跨線橋設置が、足利市の中心市街地である通二丁目、及び周辺地域の商店街の商業活動、及び跨線橋設置が、これらの地域の活性化の阻害要因となっているにもかかわらず</p>	<p>中橋の架け替えによる影響を考慮した市の取組内容については、下記のとおり本プラン（案）に記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P20 「中橋架け替え事業により人の流れが変わると見込まれることから、中橋北側に立地する店舗の販売促進に関する補助を行うこと」</li> <li>・P21 「中橋架け替えにより生まれる高架下空間の有効活用をすること」</li> <li>・P24 「中橋の架け替えに併せ、東武伊勢崎線足利市駅への歩行者動線を考慮した駅前広場の再整備について鉄道事業者</li> </ul>

	<p>わらず、これに対する具体的対策が全く欠落している。</p> <p>今回の「足利市まちなか賑わいプラン(案)」は、「中橋架け替えに伴う跨線橋設置を見据えた通二丁目、および周辺地域の市街地活性化対策」を中心に、根本的に策定し直すべきである。</p> <p>※同様の意見が他に1件あり</p>	<p>とともに協議・検討を進めること」</p> <p>・P24 「中橋整備中の通行止め期間においても市路線バスを安心して利用してもらえるように、代替路線の設定およびダイヤ編成に取り組むこと」</p> <p>以上のような方向性のもと、関係機関等とも連携しながら、中橋周辺地域も含めたまちなかの活性化に取り組んでまいります。</p>
5	<p>本来であれば歩行者や車などの迂回用の仮橋を設営してからの通行止め工事を行うべきところを、通行止めを10年近く(中橋および跨線橋の工事も含めると仮定する)行うことは著しく地域の生活と経済活動を停滞させるものである。</p> <p>工事期間である空白の10年間の停滞を課題として受け止めず、その後の賑わい創出を謳う事は本末転倒のプランであると言わざるを得ない。</p>	<p>中橋架替事業に伴う中橋及び周辺道路の通行止めは令和6年秋頃から令和10年春までの約3年半を予定しています。</p> <p>また、通行止め期間中の地域の生活や経済活動への影響を考慮した内容については、下記のとおり本プラン(案)に記載しています。</p> <p>・P20 「中橋架け替え事業により人の流れが変わると見込まれることから、中橋北側に立地する店舗の販売促進に関する補助を行うこと」</p> <p>・P24 「中橋整備中の通行止め期間においても市路線バスを安心して利用してもらえるように、代替路線の設定およびダイヤ編成に取り組むこと」</p>

(2) 取組方針I「史跡足利学校、鑊阿寺、足利織姫神社を核としたまちづくり」に関連するもの【8件】

No	意見の概要	ご意見に対する市の考え方
6	<p>まちなかを足利観光の中心と位置付けてもらえるのであれば、まちなか全体を5G・フリーWi-Fiにしてほしい。外国人観光客にも良いアピールになると思う。</p>	<p>無料Wi-Fiの整備は、観光客の利便性向上のために有効な取組の一つだと認識しています。</p> <p>費用の面から、まちなか全体に無料Wi-Fiを整備することは難しいですが、史跡足利学校や太平記館、足利観光交流館「あし・ナビ」、足利まちなか遊学館(足利のわかりやすい歴史館)など、まちなかの観光客が多く訪れるスポットには、すでに無料Wi-Fiを整備しています。</p>
7	<p>足利学校稲荷社を更に活用し、桐生</p>	<p>足利学校稲荷社については、令和4年</p>

	や佐野の天神さまと併せて、「桐生、足利、佐野の三つを拜むと合格間違いなし」というように宣伝してはどうか。	10月から足利市観光協会に足利学校参観業務とプロモーション業務を委託しており、同協会が新たな魅力をPRしています。 いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。
8	あしかがフラワーパークはとてつもない魅力を持っているが、その「おこぼれ」が街には来ない。もし、あしかがフラワーパーク周辺にホテルが出来れば、「初日は厄除け、夜は富田、明日は足利学校」と経済効果が期待できると思うがいかがか。	あしかがフラワーパークの来場者をまちなかへ誘客するための取組として、藤の開花時期に合わせて、園内に本市の臨時観光案内所を設置させていただき、まちなかの観光スポットや飲食店等の案内を行っています。同時に、まちなかに臨時駐車場を設置し、パーク・アンド・トレインライドの推進も行っています。 あしかがフラワーパーク周辺へのホテル誘致は、地域経済の活性化が期待できる取組の1つであると考えられますので、いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。
9	お寺の多い本市の特徴を生かし、宗教都市として街おこししてはどうか。	足利市観光協会とともに、足利氏ゆかりの寺社を中心にしたモデルコースの造成やパンフレット作成、情報発信等本市ならではの歴史文化資源を生かした取組を行っています。 いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。
10	足利はインバウンドが弱い。インバウンドを呼び込むために大手高級ホテルの誘致に力を入れてほしい。	外国人観光客を呼び込むための市の取組内容については、本プラン（案）に下記のとおり記載しています。 ・P17「外国人観光客を呼び込むプロモーション活動（旅行博や商談会への参加等）」 ・P17「多言語表示やピクトサイン等の誰にでも分かりやすいまちなか回遊サインの設置」 いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。

11	<p>宿泊施設は駅同様、観光客の拠点となりうる場だが、P 1 1 「(7) まちの魅力」では、宿泊施設がまちなかに集約されていることに触れていない。</p> <p>現在、観光(協会)等と宿泊施設が結びついていない。</p>	<p>本市にある宿泊施設の半数以上がまちなかエリアに立地しています。</p> <p>ご意見のとおり、宿泊施設が集まっていることは、まちなかの魅力の1つですので、「(7) まちの魅力イまちなかの魅力」に<u>宿泊施設についての記述を追加しました。</u></p> <p>夜景観光の推進により、滞在時間の延伸を図り宿泊に繋げるためにも、市内宿泊施設にイベント情報を提供するなど連携を図っていきたいと考えています。</p>
12	<p>インバウンド対策として、商店、飲食店のチラシ、メニュー等の外国語表記をバックアップしてほしい。</p> <p>学生や外国人留学生に商品、食事等を提供し、外国語のチラシメニュー等の作成を手伝ってもらい、行政はその仲介をしてほしい。</p>	<p>足利市観光協会が外国人留学生を対象としたモニターツアーを実施しています。</p> <p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
13	<p>甲冑を着たボランティアが「おもてなし甲冑隊」として鑢阿寺周辺で参拝者や観光客からの撮影に気軽に応じており、全国の様々なイベントにも呼ばれ、ボランティアで宣伝を手伝っている。</p> <p>石畳通り、駅前やフラワーパーク前で、イベントの呼び込みやチラシ配り、記念撮影に応じるなどして、観光客を盛り上げたいので、足利市でイベントがある時は呼んでいただきたい。</p>	<p>観光の更なる活性化を目指し、行政や事業者、市民が協働でおもてなしに取り組むことは重要であると認識しています。</p> <p>本プラン(案)においても、P 1 8に観光客にやさしいまちを目指すための【事業者、市民の視点】として「来訪者に対して、おもてなしの心を持って接すること」と記載しています。</p> <p>「足利市でイベントがある時は呼んでいただきたい。」というお申し出につきましては、関係各課に情報共有いたしました。</p> <p>今後は、必要に応じてお声がけさせていただきます。</p>

(3) 取組方針Ⅱ「多くの人が集い賑わい交流できるまちづくり」に関連するもの【12件】

No	意見の概要	ご意見に対する市の考え方
14	<p>個店舗設備投資等アップデートや中橋界限ウォークブルイベントへの補助金、いぶきビル跡地へ人が集まるスポーツ関連施設や商業施設の誘致を検討</p>	<p>本プランは、まちなかに賑わいを創出するための大枠の方向性について記載しております。</p> <p>いただいたご意見は、今後事業を検討・</p>

	してもらえたら嬉しい。	実施する際の参考といたします。
15	<p>近隣の教育委員会を周り、社会科体験としての足利市の魅力を語り、招致をしてもらいたい。また、情報を商店街に流してもらいたい。</p> <p>足利市の社会体験学習を行っている生徒に要望を聞いたら食べるところを増やしてほしいとのこと。トイレの設置も必要だと思う。行政の感覚ではない「見どころマップ(お店やトイレも含む)」を作って配布してはどうか。</p>	<p>本市では、現在、「足利氏のふるさとツーリズム事業」において、足利学校や足利氏ゆかりの寺社を核として、近隣市に出向き、教育旅行誘致を行っています。</p> <p>「食べるところを増やす」、「行政の感覚ではない見どころマップを作る」という点は、行政だけではなく、事業者・市民の皆様の協力が必要な部分であると思われます。フリーペーパーでオリジナルの視点で市内のマップを作成されている団体もあり、そういった活動を本市としても応援していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
16	<p>空き店舗の所有者は、跡継ぎがいなから、生活に困らないから、店を貸すメリットがないと聞く。店を貸すとやっかいなことがあると困るから貸さないという方もいるそう。でも、店を借りて起業の夢を叶えたいという若者もいるはず。そこで、行政が間に入って、お店をやりたい人にあっせんするのはどうか。安心感さえあれば、「三方よし」になるはず。</p>	<p>本市では、新たなチャレンジを応援するため、空き店舗などを活用して新規出店する方を対象とした補助を行っています。</p> <p>本プラン(案)P20「行きたいお店があるまち」の市の取組内容にも記載しているとおり、商工会議所や金融機関などの地域の関係・支援機関と連携し、新規出店のための支援を今後も実施していきます。</p> <p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
17	<p>中橋通りの通行止めは該当商店にとっては生き残れるか、閉店かの問題で、通行止めは間近に迫っている。人の流れは商店の命なので、橋の完成まで生き延びられるよう助けてほしい。中橋北側に立地する店舗の販売促進に関する補助内容について、具体案が提示されていないので、せめて、話し合いの場を設定してほしい。</p>	<p>令和6年度の新規事業として、中橋北側の店舗を支援するための補助事業を実施します。</p> <p>販売促進等の費用の一部補助を予定しておりますが、具体的な内容については、対象となる店舗の事業者の皆様担当部署から丁寧な説明を行ってまいります。</p>
18	<p>完成後の高架下の活用に関しては、不安を隠し切れない。駐車場以外の使い方はあるのか。</p> <p>戦略的に「賑わい動線」を作った方が</p>	<p>新たな賑わいを創出するための取組として、本プラン(案)P19「歩きたくなるまち」の市の取組内容に「ウォークブル推進都市として、中橋の架け替えに合わ</p>

	<p>いい。東武足利市駅から人道橋を渡り、地下道を出たあたりからお店を並べ、観光客が楽しめる街にしないとお客は来てくれない。幸いなことに空き地と空き店舗はいっぱいあるので、市の方で仲介に入ってくれば大家さんも店舗を貸しやすくなると思う。</p>	<p>せ、人々が集いまち歩きの拠点となる空間の整備を検討すること」と記載しています。</p> <p>本プラン（案）P21にも「中橋架け替えにより生まれる高架下空間の有効活用をすること」と記載しているとおり、完成後の高架下の活用と併せて、まち歩きの拠点となる空間の整備も検討したいと考えています。</p> <p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
19	<p>足利のワインを地元で飲める店が少ない。高級な料理店も無い。地元密着の店ばかりしかない。栃木の地元の和牛とワインがあるのにそれを生かし切れていない。誘致もしない。力を入れて既存の観光資源、ストックだけでなく新たな観光資源を作っていく気概を持たないといけないと思う。</p>	<p>本市は歴史文化遺産などの観光資源の他にも、新鮮な農産物などの多くの地域資源に恵まれています。本市ならではの魅力として、今後もそれらを効果的にPRするとともに、新たな地域資源の創出についても引き続き取り組んでいきます。</p>
20	<p>車は便利だが歩きたくなるまちにはどうか。イベントがある度に駐車場探しで大変なので、まちづくり事業用地を臨時駐車場として使うとか融通してもらいたい。</p>	<p>本プラン（案）P12の4まちなかの課題と今後の方向性（3）都市基盤の整備に記載しているとおり、イベント開催時や春・秋などの観光シーズンにおいて、駐車場が不足していることは、まちなかの課題として認識しています。</p> <p>本プラン（案）P17の観光客にやさしいまちの【市の取組内容】にも記載しているとおり、パーク・アンド・トレインライドの推進とともに新たな観光駐車場の整備についても検討を進めていきます。</p>
21	<p>商業組合の再編もしくは新規立ち上げをするべき。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の商業界から漏れている店舗が多い。</li> <li>・そもそも商業会がない地域がある。</li> <li>・商業会の勢いに格差がある。</li> <li>・後継者不足からくる組合員の高齢化</li> </ul>	<p>商業会活動等、商業者同士が連携した活動は、まちなかの活性化にとって重要であると認識しており、本プラン（案）P20「行きたいお店があるまち」の【事業者視点】にも「お店同士が連携し、地域の特性を生かしたイベントなどの集客事業や回遊事業を企画・実施すること」と記載しています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業連合会は協議会形式なので能動性に劣る。</li> <li>【メリット】</li> <li>・まちなか商業会として再編もしくは新規立ち上げ</li> <li>・各商店が情報の共有図る。</li> <li>・戦略的なまちなか活性プランを自発的に行う組織づくりを目指す。</li> <li>・回遊性を意識した活性プランを構築できる。</li> <li>・今まで一部地域だった商店チラシ等がまちなか全体をカバーできるチラシとして発行できる。</li> <li>【誰が行うか】</li> <li>・地元企業に事務局を外注する。</li> </ul>	<p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
22	<p>歴史観光商業重点地域として戦略的に通年イベントとして開催し、効率的に情報を発信する。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会等で発行しているパンフレットは歴史のみで商業とリンクしていない。</li> <li>・鑿阿寺、北仲、等で開催されているイベントは散発的であり、通年を通して戦略的に開催されておらず、一貫性、共同デザイン性に欠ける。</li> <li>・イベントは単体での開催が多く周辺の商店への波及効果が少ない。</li> <li>・開催地域への理解協働に欠けるイベントが多くイベントそのものに反感されやすい。</li> </ul> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客や市民に対していつ、どこで、何が行われているかを周知しやすい。</li> <li>・イベントの計画、開催時期、テーマが見える化することにより開催周辺地域の商店がかかわりやすくなる。</li> <li>・観光課、商業にぎわい課、文化課、教育委員会（足利学校）、商業（連合）会、</li> </ul>	<p>現在まちなかでは主催者や目的が異なる様々なイベントが開催されています。様々な主催者がそれぞれの視点で個性的なイベントを実施することで、より多くの方に本市を訪れてもらうきっかけにもなっていると考えます。</p> <p>このような各種イベントについて、効果的に情報発信することは、イベントの成功やまちなかの賑わいづくりのために重要な視点であり、本プラン（案）P13にも記載しているとおり、主催者だけでなく、市民（地域住民等）や事業者（商業会等）、行政が連携・協力して行うことで、より効果的に実施できるものと考えられます。</p> <p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>



	<p>商工会議所、観光協会の連携は必須であり今まで各主催で散発的だったイベントに対して一貫性、共同デザイン性など横串を通すことができる。</p> <p>・刀剣山姥切国広の経済効果の成功例に見るように歴史をコンテンツとして捉えることにより楽しそう、おもしろそうなどの興味付けが容易になり、戦略的に経済効果を見込める。</p>	
23	<p>まちなかに公共の場所、特に市民会館（文化ホール）を作って欲しい。人口が減少している現在、市民だけではなく他の地区の来場者を見込むには、高崎や大宮等の駅直結がとても行き易かった。</p>	<p>新たな市民会館の整備につきましては、令和5年2月に策定した「(仮称)新足利市民会館整備基本構想」に基づき、市民プラザ敷地と旧足利競馬場跡地の2つを候補地として検討を進めています。</p>
24	<p>石畳通りは、門前マルシェの開催中だけ足利学校正門前の通りが歩行者天国になっているが、観光客や周辺の店舗でもせめて鑢阿寺の太鼓橋前までは歩行者天国にして欲しいという意見が多い。人が多く集まるイベント開催を手始めに、土日祝日と歩行者天国の期間を広げ、安全で楽しい街歩きができるようにして欲しい。</p>	<p>石畳通りを歩行者天国にすることは、観光客に安全に安心してまち歩きを楽しんでいただくために有効な取組の1つであると思われます。</p> <p>一方、石畳通りを生活に欠かせない道路として使う周辺住民がいることや医療機関も立地していることなども考慮しなければなりません。</p> <p>いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
25	<p>エリアとして取り上げられている地域は、足利学校・鑢阿寺・織姫神社という北仲通り中心のエリアを核として捉えられており、桐生岩舟線沿いの旧商店街エリアはなおぎりの扱いであることが明らかである。</p> <p>地域活性化のキーパーソンが多数存在する地域は旧商店街の住人が多く今後の活動についても強力な人材であるはずである。</p> <p>(⑫-2)</p>	<p>本プラン（案）P3にも記載しており、主要地方道桐生岩舟線が中心を通るエリアを対象区域としています。</p> <p>対象区域内には、小売業や飲食業などの店舗が集積し、商業会などの近隣の店舗同士が地域活性化のために連携した活動を行っていることもまちなかの魅力の一つであると認識しています。</p> <p>そのため、4つの取組方針の1つとして「取組方針Ⅱ多くの人が集い賑わい交流できるまちづくり」を設定し、商店街の活性化に向けた取組を事業者や市民の皆様と連携・協力して実施していきたいと考えています。</p>

(4) 取組方針Ⅲ「都市基盤の整備による快適で災害に強いまちづくり」に関連するもの【4件】

No	意見の概要	ご意見に対する市の考え方
26	<p>中橋架替工事に伴う車両通行止めによって、「まちなか」がもっとも渋滞の影響を受けるのではないかと懸念される。</p> <p>そこで、渡良瀬川を渡る車両の数そのものを減らすことを目的に、足利市から両毛地域の企業に対して相乗り通勤への協力を要請してはどうか。</p>	<p>中橋架替工事に伴う通行止め期間中における渋滞対策については、国・県と協力・連携して取り組んで参ります。</p> <p>周辺地域の企業への協力要請についても、有効な対策の一つと考えられますので検討して参ります。</p>
27	<p>中橋を架橋する際に、アーチ橋を普通のアスファルト舗装にするつもりなのか？石畳は重いので今更難しいかもしれないが、これから100年使おうとする橋をかけ替えるのであればもう少し考えてもらいたい。</p>	<p>アーチ橋については、アスファルト舗装とし、歩行者及び自転車が通行する計画です。</p>
28	<p>渡良瀬川は親水軸にしないのか？京都の鴨川みたいに水位が低いときは飛び石で渡れるなどの楽しさもあっても良いのではないか。</p>	<p>本市は、市街地の中心部を渡良瀬川が流れていることから、水と親しめる空間づくりについて検討してまいります。</p>
29	<p>中橋は高い橋になるようで、高齢者や体が不自由な人にはエレベーターが必要だと思えます。</p> <p>是非エレベーターを作って、観光客の人々にまた来てもらえる様にやさしい町足利にしてください。</p>	<p>エレベーターの設置については、地域の皆様からのご要望をいただいておりますので、設置に向け検討を行ってまいります。</p>

(5) 取組方針Ⅳ「まちなか居住の推進」に関連するもの【0件】

(6) その他【5件】

No	意見の概要	ご意見に対する市の考え方
30	<p>人口減少の時代なので、なんでもかんでもは無理。ぜひ、コンパクトなまちづくりをしてほしい。</p>	<p>本市では、「足利市立地適正化計画」を策定し、将来の足利の姿を見据え、人口規模に応じた複数の拠点の形成を図り、拠点間を公共交通でつなぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを推進してまいります。</p>
31	<p>工事の中でも旧中橋をいち早く開通させて、歩行者用の電動無人カートを</p>	<p>旧中橋については、歩行者及び自転車の通行空間として使用する計画です。</p>

	<p>渡し舟のように端から端まで往復させる。乗る人がいない時は待機、乗る人が反対側にいる時は旗を振って呼び寄せる。乗車券は「まちなか」の店舗で買い物をしたらその場でもらえ、無賃乗車も大目に見る。</p> <p>注意喚起のためにカートから出す音は、サウンド・ライツとしてばら売りして購入した人が好きな音を配信で流せるようにする。企業CMでもよし個人で作った楽曲でもよし。価格は橋を渡る高校生が買える程度の金額に設定して活性化を図る。</p>	<p>いただいたご意見は、関係機関等とも情報共有し、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
32	<p>足利のDX推進も遅い。データ利活用を真剣に考えているのか疑問。データ連携基盤、都市OSもデジ田交付金で導入している基礎自治体も多くあると思う。その代表例が高松市であり、小田原市も防災と観光をマージさせたデータ連携基盤の構築を考えているとの事。足利も人命と財産を守るために中橋の架け替えをするだけでなく、ソサエティ5.0対策もしっかり考える必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>これまで本市では、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して教育DXや「書かない窓口（かんたん窓口システム）」の導入などを進めてきました。</p> <p>令和6年度は同交付金を活用し、教育・保育給付管理システム導入事業、デジタル予診票事業、水道DX推進事業、ドローン導入事業を実施していく予定です。</p> <p>いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
33	<p>教育機関と連携して各学校で行われているまち探検などの社会学習に行政が積極的に関わることにより学校と商業界や工業界をつなげ、足利の近代の発展や、文化財を核にした郷土史を身近に感じてもらい、まちなかを足利の歴史文化商業観光の中心として誇りを持てるように促す。</p>	<p>市民の特に若い世代にまちなかの魅力を感じてもらうことは、大切な視点であると認識しています。</p> <p>本市では、本プラン（案）P26「若者が元気なまち」にも記載しているとおり、次の時代を担う高校生たちが自ら考え、本市が抱える課題や地域活性化に取り組む活動を支援しています。</p> <p>いただいたご意見は、今後事業を検討・実施する際の参考といたします。</p>
34	<p>すでに中橋の架け替え工事は断行されており地域住民への周知活動が満足のゆくものであると思えず、近隣地域のみならず足利市全市、他地域から来訪する人も含めて多くの人の中橋の</p>	<p>中橋架替事業については、地元説明会やパネル展示などを通じて、広く周知活動等を継続して行うとともに、広報あしかがみやホームページ、SNSなど、様々な広報手段を使い、事業概要や工事期間中の交通規</p>

通行止めに想像以上の負荷を受けることに対してハッキリと周知活動を行う事を望むものである。	制など、情報発信を行ってまいります。
--	--------------------